

PBL I -54 ハードウェア・ハードウェア I [フィジカル] / Project Based Learning I

担当教員 / Instructor 永原 康史(美術学部情報デザイン学科情報デザインコース), 松川 祐子(美術学部情報デザイン学科情報デザインコース)

対象学年 / Eligible grade - 開講学期 / Semester 2019年度 / Academic Year 前期 / Spring

授業形態 / Type of class

時間割コード / Registration Code PA54 単位数 / Credits 1

備考 / Remarks

オフィスアワー / Office hours

【サブタイトル / Subtitle】

【授業のねらい / Course Objectives】

インターネットで個人が情報を自由に発信できるようになって久しい。一方で、ライブや講演会といったリアルな場に人が集まるようにもなった。また、データを交換し合い、3Dプリンタで実体化するといった、デジタルファブリケーションも話題を集めている。電子情報（デジタル）と身体性（フィジカル）はすでに対立概念ではなくなっている。

さて、従来、出版は社会的な行為だったが、Amazon Kindle、Apple iBooks などの電子出版のシステムで、急速に個人のものになりつつある。Zineやリトルプレスといった個人や小さなグループで、きわめてパーソナルな冊子をつくる運動も盛り上がり、出版分野でもデジタルとフィジカルが良いバランスで関連しつつある。

パーソナルパブリッシング I（フィジカル）では、冊子というきわめて身体的なメディアにおける紙の物性、文字や図が持つイメージ性に着目し、本の素材や構造について学ぶ。また、インターネット上のフローする情報ではなく、本にストックされる情報のあり方や、それを個人で出版することの意味を、Zineやアートブックをつくることで考察する。

【到達目標 / Course Goals】

制作から出版（販売）までを体験する

【授業の展開計画 / Class schedule】

1. ガイダンス（後期のデジタルにもふれる）
2. 講義「小さな出版とアートブック」
3. 紙工作演習
4. 紙工作演習（簡単な製本まで）  
（第13回の補講） 見学&ワークショップ
5. ミニワークショップ A-1
6. ミニワークショップ A-2 講評
7. ミニワークショップ B-1
8. ミニワークショップ B-2 講評～内容づくりの解説
9. 内容発表
10. 最終制作 1
11. 最終制作 2
12. 最終制作 3
13. （OC準備期間につき休講）
14. 個別相談日
15. 講評会

※授業計画は変更することがあります。

【履修上の注意事項／Notices】

コンピュータを用いて制作することがあるので、DTPソフトなどの基本的な知識が必要である。ただし、高度な技術は必要ない。  
希望者は東京アートブックフェア（7月）に出品する（応募状況により出展できない場合もあります）

【評価方法／Evaluation】

出席3，課題3、取り組み4で評価する。

【テキスト／Textbooks】

随時配布する。

【参考文献／Bibliography】

アリスン・ピープマイヤー『ガール・ジン 「フェミニズムする」少女たちの参加型メディア』（太田出版）  
内沼晋太郎『本の逆襲：10』（朝日出版社）  
ヒュー・マクガイアほか『マニフェスト 本の未来』（O' REILLY）  
クレイグ モド『ぼくらの時代の本』（ポイジャー）  
オライリー・メディア『ツール・オブ・チェンジ 本の未来をつくる12の戦略』（O' REILLY, Amazon Kindle版）

【準備事項／Preparation】